

子育てママたちの「きもち」

【特集】

子育ての立場で、家族・地域・町はどつ映っているのどつよじか？



子育てを家族、地域、町で支えることは重要なことです。しかし、支えるためには、子育ての中心となる子育てママの「きもち」を知ることが大切ではないでしょうか。まずは、知ることがスタートです。

子育てで大変なことは？

「子どものオムツトレーニングが大変です。お漏らししてしまうことがあります」「病氣したときですね。仕事が休めないなど。急なことだと難しいです」「親と世代が違うから子育てが違います。口移しであげたり、着せろ着せろといわれます」

「子育てサークルにも、おじいちゃんとおばあちゃんが来てくれればいいと思います。情報交換もでき、お嫁さんには聞けないけど、他のお嫁さんなら聞く事もできると思います。今はそれが普通なんだと、思うこともあると思います」

「うちは仲がいいし、分かってくれて気も遣ってもらえるので、やりやすいですね」

お父さんの子育て参加は？

「私が寝込んだときなどは、夫がご飯を

作ってくれます。普段はお風呂を入れたり、子どもの相手をしてくれますね」

「平日、夫は帰りが遅いので、子どもの世話は難しいです。休みの日はその分朝から晩まで相手をしてくれるので、ありがたいです。平日、あてにできるのは、ちよつとうらやましいです」

「私はあてにしないで、ありがとうと思うように心がけています。夫は仕事が忙しいので、基本的には日曜日だけしてくれます。仕事もあつて仕方ないかなと思つけど、下の子のおむつを一度も替えたことがないです」

全員、「えー」

「子どもがおじいちゃん、おばあちゃんの方に慣れて、お父さんに慣れなくなつて。せめて、お風呂に一緒に入ってコミュニケーションを取つてもらつています」

地域とのつながりは？

「散歩をしていると、畑仕事をしているおじいちゃん、おばあちゃんが声をかけてくれるので、つながりはあると思います」

「私の地域は、夏に地域全体でバーベキューをやります。おじいちゃん、おばあ

ちゃんと子どもたちが交流できます」

「地域との交流は、小学校に上がらないとありませんよね。もつと、小さい頃から交流があればいいですね。保育園に入つて、初めて知り合うお母さんも多いですよ。子育て広場に行くお母さんとは知り合えるけど、その他のお母さんとは接点がありません」

「子育てサークルに行つてますが、参加者が少ないです。来る人は決まつてしまつてます。結構、1人目のときは1回も来たことがなかつたというお母さんがいますよね。きつかけがないんですよ。上の子どもが保育園に上がることによつて、きつかけができて、来るようになるお母さんがいます。初めての所に行くのは、ちよつと勇気がいらますよね」

地域の課題は何ですか？

「遊びに行ける公園のようなところが少ないです。最近公園に行つても、遊具は危ないということ、あまりありません」

「小学校の庭ぐらいたと思つてますが、遊具は壊れたままで、遊ぶには危ないですね。園庭開放で保育園に行きますが、冬

になるとやらないので、冬もやつてくれればいいのにと思つてます」

町の子育て支援の利用は？

「ながの子育て家庭優待パスポート」はよく使つてますが、店で利用できる大きくアピールしてもらわないと、使えるのか分らないですね」

「一時保育」は1日預けると、結構な額になります。考えてしまつてますね」

「一時保育」をやつてるところは古間保育園だけです。古間の人は預けやすいですけど、古間以外の人は預けづらいつとは思つてます。はじめてだとなかなか使えないですね。前日に予約が必要なもの、難しいときがあります」

「私はうまく使わせてもらつています。上手に使える人は使えるんだけど、知らない人は全然知らない。『一時保育』を知らない人は結構いますね」

子育てをする上で信濃町は？

「病院もあるし、買い物も車で長野市などに行けます。適度にぎやかで、適度に自然があつて、子どもを育てるには、

いい場所かなと思つてます。ここで子育てしたくて、ここに引越してくる人も出てくるよつになつたら、いいなと思つてます」

「車がないと買い物に行けないです。かかりつけが長野市の病院なので、ちよつと不便です。夏は過ごしやすくすごく好きですが、冬になると実家に帰つたくありません。でも、子どもを育てるには、自然が多くて子どもは虫を捕まえて喜んでるので、どつちがいいのかなと思つてます」

「長野市と比較すると、未満児保育は安く設定されてると思つてます。長野市は朝8時から無料ですが、基本料金が高いと長野市の友達に聞きました。あと、予防接種が他より早く無料化したので、そういうところは、がんばつてるかなと」

魅力的な町にするためには？

「任意の予防接種に対してもう少し補助してほしいです。補助があれば受けやすくなります」

「土曜保育を古間保育園のみやつてますが、土曜日だけ違う園に行くのは、先生や友達も変わつてしまつて切ないです。働くお母さんの負担にもなるので、土曜日も各保育園でやつてもらつてます」

「子どもが違う保育園に行くのをイヤがります。人数が少ないというのはわかりますが、子どもはやつぱり慣れてる保育園に見てもらつてます」

「小中学校の駐車場が足りないです。病院の駐車場もそうですが、なんとかして

もらつてますね」

「飯綱町では「なかよし広場」というのをやつてます。おじいちゃん、おばあちゃんも孫を連れてきて、人形劇や紙芝居もあり、みんなでお弁当を広げて食べて、すごく良かったです。おじいちゃん、おばあちゃんいろいろな地域の人たちと交流ができてます。楽しいコミュニティの場づくりも参考にしたいと思つてます」

役場や広報については？

「以前、お昼に行つたら誰も出てきてくれなくて。お昼休みで自席で寝ている人がいました。呼んでも全然聞こえていないよつで。呼んでいる方が恥づかしくなりました」

「広報の写真が楽しみです。広報は情報が多いですが、月1回なので日々の情報が伝わつてきません。保育園に入る前の子の親には、意外と情報が来ません。広報でお知らせしましたと言われても、広報だけでは、情報は得られないですね」

「防災無線はエコーがかかり聞き取れないです。子どももいるので、万が一のときに聞き取れないのは困ります。緊急情報メールも、不審者情報が前々日ぐらいの情報が入つてきて、どうしてあんなに遅いのかなと思つてます」

「他にも色々なお話を伺つてます。他にも色々なお話を伺つてます。今回のお話も踏まえて、第2弾として広報で子育て特集を考えていきます。ご協力ありがとうございます」



参加者：写真の左から、小坂園枝さん（古間）／戸田佐和子さん（富士里）／斉藤里美さん（富士里）／片山房枝さん（柏原）／武前麻衣さん（野尻）／常田香織さん（野尻）／聞き手：住民福祉課 保健予防係 保健師 小池恵理奈